

【2】 上位計画の内容

2-1 当別町地域公共交通計画の概要

2-2 当別町地域公共交通計画のポイント

2-1 当別町地域公共交通計画の概要

2-1-1 当別町地域公共交通計画と本計画の位置づけ

本計画は、「当別町地域公共交通計画」を上位計画に位置付けて策定しています。「当別町地域公共交通計画」は、当別町の地域公共交通の総合的な指針＝マスタープランとして作成されたもので、記載項目は、【はじめに】、【現状と課題】、【基本理念と基本方針】、【施策メニュー】、【評価方法と進捗管理】、【資料編】の6区分としています。本計画は、当該計画の【施策メニュー】に記載される事業のうち、特に利便増進に係る事業について、その具体的な内容や実施体制・実施方法を記載するものとなっています。

2-1-2 当別町地域公共交通計画の記載項目の概要

以下に、「当別町地域公共交通計画」の記載項目について示します。

【1】はじめに	計画策定の背景と目的、計画区域、計画期間、計画の位置づけを示しています。
【2】現状と課題	地域の人口動態や移動ニーズ、地域公共交通の概況・利用状況・収支状況等を示しています。また、それらを踏まえて地域公共交通の課題と各交通サービスの役割を示しています。
【3】基本理念と基本方針	【現状と課題】を踏まえて、計画の基本理念と基本方針を示しています。
【4】施策メニュー	【基本理念と基本方針】に基づいて、施策メニューと事業内容、スケジュールを示しています。
【5】評価方法と進捗管理	施策の目標達成に向けて、KPI 及び評価方法を示しています。また、施策や評価の実施体制を示しています。
【資料編】	計画策定に活用したデータや調査結果等について示しています。

2-2 当別町地域公共交通計画のポイント

ここでは、本計画を策定するにあたり、上位計画である「当別町地域公共交通計画」のポイントを示します。

2-2-1 町内の公共交通の運行状況

当別町地域公共交通計画では、町内の公共交通の運行状況を整理しています。以下に、現行の町内の公共交通の運行状況並びにネットワーク図を示します。

【コミュニティバスの運行状況】

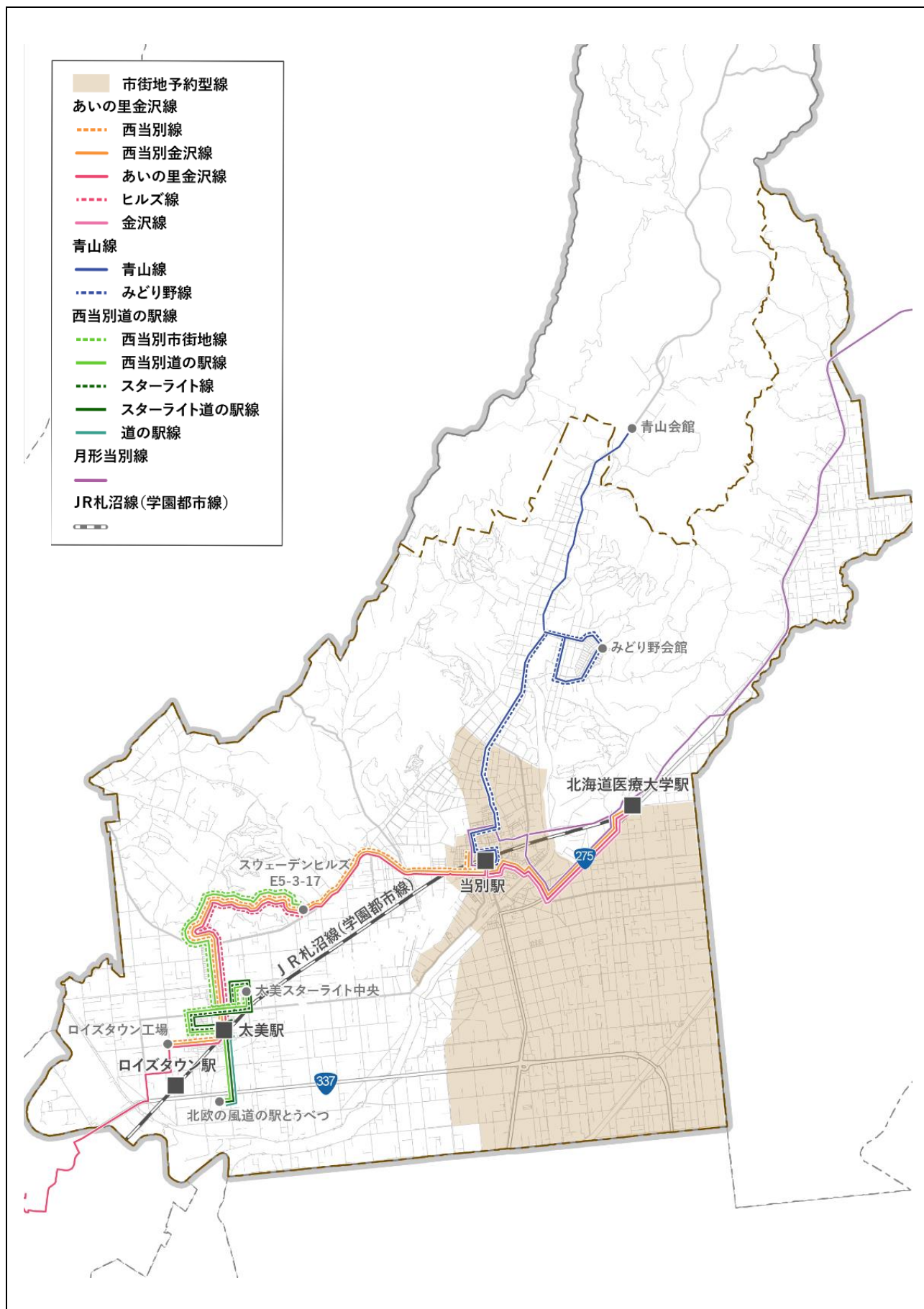
路線名称	運行系統（起点・終点）	系統 キロ	運行回数		補助対象実態
			往路	復路	
01 市街地予約型線	本町市街地の指定区域内（※）	—	8(0)		・地域内フィーダー補助系統
02 あいの里金沢線	北海道医療大学～医療大学あいの里キャンパス	22.2	—	—	・地域間幹線系統
02-1 西当別線	JR 当別駅南口～ロイズタウン工場	12.1	6(8)	7(8)	
02-2 西当別金沢線	北海道医療大学～ロイズタウン工場	16.6	4(0)	4(0)	
02-3 あいの里金沢線	北海道医療大学～医療大学あいの里キャンパス	22.2	8(3)	8(3)	
02-4 ヒルズ線	スウェーデンヒルズ E5-3-17～JR 太美駅	5.7	1(0)	4(0)	
02-5 金沢線	JR 当別駅南口～北海道医療大学	4.5	3(0)	2(0)	
03 青山線	JR 当別駅南口～青山会館	15.5	—	—	・地域内フィーダー系統
03-1 青山線	JR 当別駅南口～青山会館	15.5	5(0)	3(0)	
03-2 みどり野線	JR 当別駅南口～みどり野会館	9.0	2(3)	5(3)	
04 西当別道の駅線	北欧の風道の駅とうべつ～スウェーデンヒルズ E5-3-17	10.3	—	—	・地域内フィーダー系統
04-1 西当別市街地線	JR 太美駅～スウェーデンヒルズ E5-3-17	8.6	0(0)	1(0)	
04-2 西当別道の駅線	北欧の風道の駅とうべつ～スウェーデンヒルズ E5-3-17	10.3	5(4)	4(6)	
04-3 スターライト線	JR 太美駅～太美スターライト中央	2.5	1(0)	0(0)	
04-4 スターライト道の駅線	北欧の風道の駅とうべつ～太美スターライト中央	4.4	2(3)	1(0)	
04-5 道の駅線	北欧の風道の駅とうべつ～JR 太美駅	1.7	1(1)	2(2)	

※西町・北栄町・春日町・東町・緑町・元町白樺町・園生・錦町・弥生・末広・美里・幸町・下川町・栄町・樺戸町・六軒町・若葉の一部（パーソナルタウン）・東裏・対雁・麻岱の行政区

【その他の公共交通の運行状況】

名称	区分	サービス概要
05 月形当別線	鉄道代替バス	・平日 18 便 ・休日 14 便
06 JR 札沼線（学園都市線）	鉄道	
06-1 JR 北海道医療大学駅	鉄道駅	・JR 当別駅方面行き：34 便 ・JR 当別駅方面から到着：32 便
06-2 JR 当別駅	鉄道駅	・JR 北海道医療大学駅行き：32 便 ・JR 北海道医療大学から到着：34 便 ・JR 札幌駅方面行き：43 便 ・JR 札幌駅方面から到着：41 便
06-3 JR 太美駅	鉄道駅	・JR 当別駅方面行き：41 便 JR 当別駅方面から到着：43 便 ・JR 札幌駅方面行き：43 便 JR 札幌駅方面から到着：41 便
06-4 JR ロイズタウン駅	鉄道駅	・JR 当別駅方面行き：37 便 JR 当別駅方面から到着：38 便 ・JR 札幌駅方面行き：38 便 JR 札幌駅方面から到着：37 便
07 タクシー・ハイヤー	—	・町内で 3 社が営業 ・計 15 台が運行登録
08 スクールバス	—	・町内 11 系統
09 介護タクシー	—	・町内 1 事業者
10 福祉有償運送	—	・町内 3 事業者

【町内公共交通のネットワーク図】



2-2-2 町内の地域公共交通の課題

「当別町地域公共交通計画」では、地域の現状や公共交通サービスの利用状況・収支状況等を踏まえて、4つの課題を示しています。以下にそれらの課題と関連する現状・問題点を示します。本計画においても、これらの課題は同一とします。

課題1 エリア特性を踏まえた地域公共交通ネットワークの維持・形成

- 冬期の豪雪による交通障害
- 公共交通空白地の存在
- 高齢化の進行
- 人口減少の進行
- バス利用者の減少
- 外出の曜日特性
- 外出の時間特性
- JR 駅を中心とした市街地形成
- 札幌市への生活需要
- 新たな居住ニーズ
- 新たな観光ニーズ

課題2 地域公共交通サービスの利便性向上

- 冬期の遅延・運休の発生
- 充実した情報提供の必要性
- 高齢化の進行
- スマートフォンの普及
- デジタル技術の発展
- キャッシュレス需要の増加
- JR 駅を中心とした市街地形成
- 札幌市への生活需要

課題3 地域公共交通サービスの提供に要するリソース確保

- バス利用者の減少
- 人口減少の進行
- 運行経費の増大
- 負担金/補助金による経営
- 利用の少ない路線の顕在化
- 運転手不足/高齢化

課題4 自家用車依存脱却に向けた公共交通の利用促進

- 高い自家用車依存
- 免許返納者数の増加
- バス利用者の減少
- SDG s・低炭素社会の要請

2-2-3 当別町地域公共交通計画の基本理念

「当別町地域公共交通計画」では、地域公共交通の課題等を踏まえて、基本理念を以下のとおり定めています。本計画においても、基本理念はこれと同一とします。

安全・快適な移動を支える持続可能な地域公共交通の実現

2-2-4 当別町地域公共交通計画の基本方針

「当別町地域公共交通計画」では、基本理念に基づき、課題解決に向けた 5 つの基本方針を以下のとおり定めています。本計画においても、基本方針はこれと同一とします。

基本方針① ニーズに合った持続可能な公共交通ネットワークの形成

JR 札沼線とコミュニティバスを軸として、住民や来訪者の移動ニーズに合った公共交通ネットワークの形成に向けて、サービスの見直し・改善を進めます。

基本方針② 地域にフィットするモビリティの導入

人口減少や高齢化といったニーズ変化を踏まえて、ライフスタイルやエリア特性にフィットしたモビリティの導入・転換を進めます。

基本方針③ デジタル技術活用等によるサービスの高度化・利便性向上

デジタル技術等を活用したモビリティの導入やサービス提供、環境整備等を進めることで、サービスの高度化と利便性の向上を図ります。

基本方針④ サービスの安定供給に向けたリソース不足等への対応

公共交通サービスを支える運転手確保・財源確保を着実に行うとともに、新型コロナウイルス等のリスク対応を十分に行いサービスの安定供給を図ります。

基本方針⑤ 公共交通の利用促進とクルマ依存からの脱却促進

戦略的かつ網羅的なモビリティ・マネジメントや利用促進キャンペーンを行い、公共交通利用者を増やすとともにクルマ依存からの脱却を目指します。

2-2-5 当別町地域公共交通計画の施策メニュー

「当別町地域公共交通計画」では、課題や基本方針を踏まえて、以下の施策及び事業を位置付けています。本計画では、これらのうち特に利便増進に資する事業について、利便増進事業に位置付けます。

施策①	地域公共交通サービスの維持確保
事業 1-1	地域公共交通サービスの維持確保
施策②	バス路線のネットワーク・ダイヤの見直し
事業 2-1	あいの里金沢線のネットワーク・ダイヤの見直し 【利便増進事業に関連する事業】
事業 2-2	月形当別線のネットワーク見直し
事業 2-3	西当別エリアのバス路線再編 【利便増進事業】
施策③	新たなモビリティの検討・実証・導入
事業 3-1	自動運転バスの実証運行
事業 3-2	青山線の一部デマンド化 【利便増進事業】
事業 3-3	交通空白地の移動支援策検討
施策④	快適な公共交通利用環境の創出
事業 4-1	低床車両への順次入れ替え 【利便増進事業】
事業 4-2	JR 駅へのアクセス性改善 【利便増進事業】
事業 4-3	バス待ちスポットの創出 【利便増進事業】
施策⑤	公共交通の情報提供の高度化
事業 5-1	とナビの機能強化・多面的活用
事業 5-2	グーグルマップと連携した情報発信 【利便増進事業】
施策⑥	コミュニティバスの運賃体系や支払い方法の見直し・検討
事業 6-1	運賃体系の見直し 【利便増進事業】
事業 6-2	キャッシュレス決済の導入 【利便増進事業】
事業 6-3	デジタルチケットの導入及び活用検討
施策⑦	公共交通の運転手確保対策の実施
事業 7-1	バス・タクシーの運転手確保に向けた取組実施
事業 7-2	感染症対策等の強化支援等によるリスク対策
施策⑧	モビリティ・マネジメント（MM）の実施
事業 8-1	小中学生向けのMMの実施
事業 8-2	ライフスタイル転換期を対象としたMMの実施
事業 8-3	公共交通イベントの企画・実施
施策⑨	利用促進キャンペーン等の実施
事業 9-1	小中学生向けの長期休暇定期券の企画販売
事業 9-2	観光施設・商業施設と連携したパック乗車券の企画販売
事業 9-3	お試し乗車券の配布 【利便増進事業】

【基本方針▶施策メニューの全体フレーム】

※ ●：施策実施の主目的となる基本方針、○：施策の副次的効果の対象となる基本方針

【 基 本 理 念 】 安全・快適な移動を支える 持続可能な地域公共交通の実現	基本方針①	基本方針②	基本方針③	基本方針④	基本方針⑤
施策①：地域公共交通サービスの維持確保					
事業1-1：地域公共交通サービスの維持確保	●				
施策②：バス路線のネットワーク・ダイヤの見直し					
事業2-1：あいの里金沢線のネットワーク・ダイヤの見直し	●				
事業2-2：月形当別線のネットワーク見直し	●				
事業2-3：西当別エリアのバス路線再編	●	○	○	○	
施策③：新たなモビリティの検討・実証・導入					
事業3-1：自動運転バスの実証運行	○	●	○	○	
事業3-2：青山線の一部デマンド化	○	●		○	
事業3-3：交通空白地の移動支援策検討	○	●			
施策④：快適な公共交通利用環境の創出					
事業4-1：低床車両への順次入れ替え			●	○	
事業4-2：JR駅へのアクセス性改善			●		
事業4-3：バス待ちスポットの創出		○	●		○
施策⑤：公共交通の情報提供の高度化					
事業5-1：とべナビの機能強化・多面的活用			●		○
事業5-2：グーグルマップと連携した情報発信			●		○
施策⑥：コミュニティバスの運賃体系や支払い方法の見直し・検討					
事業6-1：運賃体系の見直し				●	
事業6-2：キャッシュレス決済の導入			●	○	●
事業6-3：デジタルチケットの導入及び活用検討			●	○	●
施策⑦：公共交通の運転手確保対策の実施					
事業7-1：バス・タクシーの運転手確保に向けた取組実施				●	
事業7-2：感染症対策等の強化支援等によるリスク対策			○	●	
施策⑧：モビリティ・マネジメント（MM）の実施					
事業8-1：小中学生向けのMMの実施					●
事業8-2：ライフスタイル転換期を対象としたMMの実施					●
事業8-3：公共交通イベントの企画・実施				○	●
施策⑨：利用促進キャンペーン等の実施					
事業9-1：小中学生向けの長期休暇定期券の企画販売					●
事業9-2：観光施設・商業施設と連携したバック乗車券の企画販売			○		●
事業9-3：お試し乗車券の配布					●